

《UBS版聖書本文とは？》

《現代版聖書のルーツより抜粋》

[PDFファイル](#)

■現代版聖書は、UBS版聖書本文、ネストレ-アーラント版聖書本文を原文または底本としています。

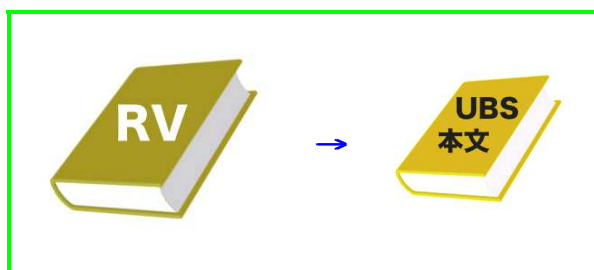
●UBS版本文はどこから？

UBS版聖書本文について見てみましょう。

UBS聖書本文の編集者ブルース・メッツガーはこう述べています。(E-2)



「UBSギリシャ語新約聖書を作成した国際委員会は、[ウェストコットとホートの聖書本文 \(RV\)](#) をその土台の本文として採用しただけでなく、彼らの方法論にも従った...



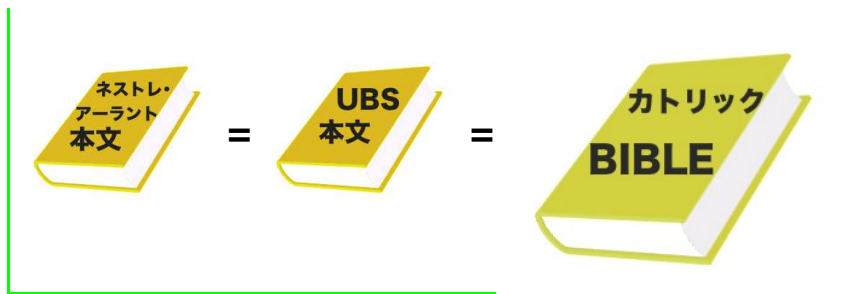
このように、UBS版聖書本文は聖書本文RVに由来していることがわかります。

●統一された同じ本文

現在、ネストレ-アーラント版聖書本文もUBS版聖書本文も同じ本文です。(E-3 E-4 E-5 参照)

「『[ネストレ-アーラント版聖書本文](#)』第27版（2006年発行）...それは、『[UBS版聖書本文](#)』（聖書協会世界連盟 United Bible Societies）第4版と[同じ本文](#)です。

これらは、ESV, NIV, NASB, HCSV聖書、および、新たなカトリックの聖書などの現代版聖書が土台としている『読み方』および本文です」



(ウィル・キニー, "[Undeniable Proof the ESV, NIV, NASB, Holman Standard, NET etc. are the new "Vatican Versions"](#) **E-5**)

『ネストレ-アーラント版聖書本文』には、こう書かれています。 (**E-4**)

「1955年、**K.アーラント**は、**M.ブラック**、**B.M.メッツガー**、**A.ウィグレン**、および**C.M.マルティニ**とともに『ギリシャ語新約聖書』を作成するための編集委員会に参加するよう招かれた。それは、数々の選択された箇所に関する研究資料付きのギリシャ語本文であり、世界の聖書翻訳者たちが利用するために意図されたものである（第一版:1966年、第二版:1968年）。

『**ネストレ-アーラント版聖書本文**』および『**UBS版聖書本文**』の二つの版の作業は、しばらくの期間、平行して行われた。

その結果、『**ネストレ-アーラント版聖書本文**』第26版（1979年）と、『**UBS版聖書本文**』第3版（1975年）は、**土台となる同じ本文を共用**した。

この二つの聖書本文によって共用された本文は、世界各国の聖書協会によって採用された。

そして、**バチカン(ローマ教皇庁)**と**聖書協会世界連盟(UBS)**との間での**協定**に従って、この本文は、彼らの**監督の下**で作成される新たな翻訳聖書および改訂版の**土台**として用いられている。

このことは、異なる宗派間での関係に関して、意義深い一歩である」



『**ネストレ-アーラント版聖書本文**』第27版（2006年）,p.45

以上のことから、現代版聖書が、おおむね、『**ウェストコットとホートの聖書本文 (RV)**』に由来していることがわかります。

● 現代版聖書の編集者たちとは？

また、これらの本文を編集したのは、**K.アーラント**、**M.ブラック**、**B.M.メッツガー**、**A.ウィグレン**、および**C.M.マルティニ**でした。

彼らは、こういう人物でした。 (**E-2**)

《現代版聖書の編集者たち》



- 彼は、モーセが五書を書いたのではないと信じていました。
- 彼は、旧約聖書は、「**神話と伝説**と歴史」の混合物であると信じていました。
- 彼は、ノアの時代の世界規模の洪水記録は**誇張されたもの**だと信じていました。
- 彼は、『ヨブ記』は**民話である**と信じていました。
- 彼は、エリヤやエリシャの奇跡の記述には、「**伝説的な要素**」が含まれていると信じていました。
- 彼は、ヨナ書の記述は『**伝説**』だと信じていました。
- 彼は、『ダニエル書』には奇跡的な預言は含まれて**いない**と信じていました。
- 彼は、『牧会書簡』はパウロが書いたのではないと信じていました。
- **ブルース・メッツガー**
 - 彼は、『ペテロの第二の手紙』はペテロが書いたのではないと信じていました。
 - 以上のことはすべて、『Reader's Digest Condensed Bible』の脚注で見出すことができます。これは**メッツガー**が編集した聖書です。また、『New Oxford Annotated Bible』(**メッツガー**が共編者)の中でも見出すことができます。
 - 彼は、**外典を含み**、エキュメニカルで**リベラル**な聖書『**NRSV**』の編纂者でした。彼はそれを**ローマ法王**に贈呈しました。
 - 彼は、『ヘルマスの牧者』『クレメントの手紙』などの**外典を靈感されたもの**とみなしました。
 - 彼は、**不可知論者** (神の存在は知り得ないとする) エールマンとの**共著者**でした。 (**E-2**)
- **クルト・アーラント**
 - 彼は、**聖書の逐語靈感を否定**しました。
 - 彼は、**エキュメニカル**な新たな正典聖書 (カトリックの数々の**外典を含む**ことになるもの)を**受け入れる**ことにより、キリスト教の**すべての教派**が一つの『**体**』に**統合される**ことを望みました。(クルト・アーラント著『新約聖書正典の問題』pp. 6,7,30-33)
 - 彼は、**リベラル派**であり、**聖書の各書の正典性を疑**いました。
 - 彼は、**聖書を神のことばとは信じませんでした**。

- マシュー・ブラック
 - 彼は、『Peake's Commentary on the Bible』の共同編集者（1982年）でした。この聖書は、キリスト教の根本教理に**大胆に反対する**書であり、編集者たちは**聖書の無謬の靈感も、摂理的保持の教えも否定**しています。
 - 彼は、**進化論**ほか、**カトリック独自の数々の教義**を推し進める**カトリック**の枢機卿であり、**イエズス会**の会士でした。
- カルロ・マルティニ
 - 彼は、『**ニューエイジ、一つの世界宗教**』を推進させるべく世界中から100人を越える**宗教指導者たち**から成る**統合会議**を招集しました。
 - 彼は、**すべての教団および宗教**を**カトリック的統合**へ導こうとする**エキュメニカル運動**および**統合運動**推進の**急進派**でした。

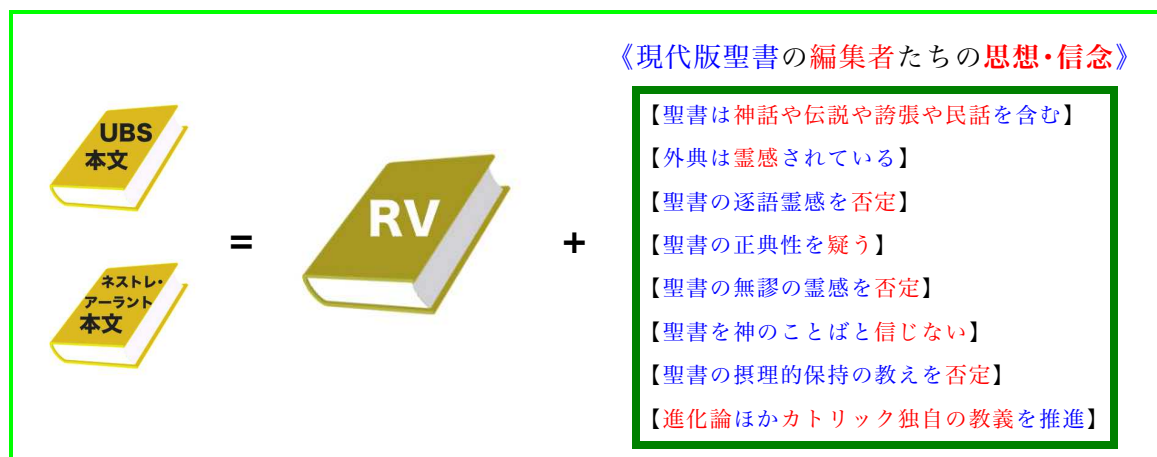
つまり、これらの**現代版聖書の編集者**たちは、

- 【**聖書の逐語・無謬の靈感**を**否定**し、**神のことば**と**信じない**】
- 【**不可知論者**との共著者である】
- 【キリスト教の根本教理に**大胆に反対する**】
- 【**カトリック的統合**に向けて**エキュメニカル運動**を推進する】人々であり、

彼らの**思想・信念**は、こうでした。

- 【**聖書は神話や伝説や誇張や民話を含む**】 ・ 【**外典は靈感**されている】
- 【**聖書の逐語靈感**を**否定**】 ・ 【**聖書の正典性**を**疑う**】
- 【**聖書の無謬の靈感**を**否定**】 ・ 【**聖書を神のことば**と**信じない**】
- 【**聖書の摂理的保持の教え**を**否定**】 ・ 【**進化論**ほか**カトリック独自の教義**を**推進**】

このような人々から成る委員会での『**話し合い**』によって現代版聖書の原文（底本。**ネストレ-ア-ラント版/UBS版聖書本文**）が**編集**されて作られ、その原文が**翻訳**されて世界各国の聖書が作られています。



■ この聖書本文が『**何に由来しているか**』を知ることは確かに重要ですが、『**どういう思想や信念を抱いた人々の手を経て作られてきたか**』を知ることも重要です。なぜなら、彼らはそういう**思想や信念**を込めて、自分たちが**好ましい**と思うように手がけたはずであり、そうして出来上がった作品（聖書）は、必然的に彼らの**思想や信念**が**反映**されたものとなっているからです。

(聖書の歴史 E-8 『[現代版聖書はどこから？](#)』より抜粋)

★続きは、聖書の歴史 E-9 『[聖書本文RVはどこから？](#)』をお読みください。

[ネストレ-アーラント版/UBS版聖書本文の検証](#) 《[聖書協会UBSとは？](#)》

《[ネストレ-アーラント版聖書本文とは？](#)》 《[キリスト教界でほとんど知られていない事実](#)》

《[ネストレ版/UBS版聖書に関わった人々](#)》 《[オリゲネスとは？](#)》 《[エウセビウスとは？](#)》

[聖書の歴史](#) [目次](#) [聖書のホームページ](#)

[TR 新約聖書](#)

[選択カテゴリにジャンプ!](#)

[利用規約](#) Copyright C. エターナル・ライフ・ミニストリーズ